

広島県内のソーシャルビジネスの実践者のご講演を通じて、主に広島の企業、行政、NPOにソーシャルビジネスについての知見を深めてもらうとともに、自分ごととして関心を持ってもらうことを目的とした講演会です。



# 課題解決 × 社会起業

社会課題にビジネスでアプローチ～改めて広島のソーシャル・ビジネス(社会起業)を考える

**受講対象者** ソーシャルビジネスやCSVに関心を持つ企業、行政、NPO等(に所属する個人)、及び大学生(高校生も歓迎する)



**住岡 健太** (すみおか けんた)  
 NPO 法人 PCV 専務理事

1985年広島市生まれの被爆3世。10代にアメリカ留学、アジア一人旅を経験し「平和とは何か?」が人生の大きな問いとなる。21歳に社会起業サークルを立ち上げ、渋谷にて廃棄された傘の無料レンタルサービス「シブカサ」を運営。

25歳で起業。経営する飲食店が、日本を決める第6回居酒屋甲子園にてベスト6となる。2013年には原爆の残り火にて全47都道府県にて参加者1000名を超えるキャンドルナイトを企画。現在は、多種多様な事業のプロデュースを行う。コンセプトは「平和をつくる仕事をつくる」

**1st**  
**02/26** (土) SAT  
**10:00~11:40**  
 先駆的に業界にビジネス的視点を導入している実践者。



**井上 明** (いのうえ あきら)  
 合同会社よーそろ 代表執行役員

広島市安佐北区出身。大学を卒業し建材メーカーの営業マンとして約7年間南九州で過ごす。その後仕事を辞め呉市に1ターン。呉をもっと知ろうとたまたま見つけた観光ボランティア養成講座で大崎下島御手洗に出会う。

約半年間ボランティアガイドをしたのち御手洗で江戸時代の船宿を改修したカフェ「船宿カフェ若長」をオープン(2011年)。その後、ギャラリー、鍋焼きうどん屋、物産館、素泊まり宿、レストラン、一組限定宿、シェアハウス、食品加工場など、半径150m程の御手洗地区で7つの空き家をリノベーションし、Uターン、Iターン者と共に様々な事業創造に取り組んでいる。重伝建を考える会理事、一般社団法人御手洗デザイン工房事務局長。



**石飛 聡司** (いしとび さとし)  
 株式会社 mint 代表取締役

一時就職で広島を離れるがリターンし2014年に株式会社mintを設立。広島のローカルな魅力を活かす事業を創出したとの思いで市内を周遊するサイクリングガイドツアーを開始。滞在時間が短いという広島の課題に対して、平和公園・宮島だけではなく街全体を楽しんでもらうより多くの時間を過ごしてもらおうという想いからsokoiko!(ソコイコ)という名前をつける。

広島の戦前戦中から戦後復興へのストーリーをツアー化させる手法や接客をとり入れたガイドの開発や育成などで注目を集め現在は広島県のみではなく全国で観光企画やツアー造成、ガイド育成事業などに携わる。

**2nd**  
**03/12** (土) SAT  
**10:00~11:40**  
 観光に地域振興・地元参画の視点をいれつつビジネス化している実践者。



**佐藤 亮太** (さとう りょうた)  
 NPO 法人湯来観光地域づくり公社 理事長

愛知県岡崎市生まれ。福島ユナイテッドFC勤務時、東日本大震災で被災し広島市中区へ。震災で気付いた「食べ物作れない限り本当の安定はない」を実行するため、2014年に人口100人未満の湯来町上多田地区に2段階移住し、カフェ経営や魚の養殖、間伐のワークショップなどを行う。同時に外国人との共同生活を、2年で20カ国70人以上と。彼らとの対話から湯来の可能性を肌で実感し、2018年より、NPO法人湯来観光地域づくり公社の理事長に就任。温泉の街・湯来町において、「アドベンチャーーツーリズム」を軸に、様々な自然体験プログラムの開発や、温泉街再生のための露天風呂復活・飲食店再生などを行っている。人・環境・経済的に持続可能で、かつ、湯来町に来ることで、人生観が変わるような、プログラムづくりとまちづくりを目指している。



**後藤 峻** (ごとう しゅん)  
 一般社団法人フウド 代表理事  
 コミュニティスペース・フウド館長

広島市出身。江田島市へ移住。地域おこし協力隊卒業後、一般社団法人フウドを立ち上げ、フウド(風・海・土)プロジェクトを拡大中。「[風(外の人)]が、[海]を介して、[土(島の人)]と交わる」ことを意味し、「縁」がつながる機会と場所を作っていくことにこだわる。コミュニティスペース・フウドの運営をはじめ、移住支援・空き家紹介、企業誘致、観光事業など江田島という地域に根差したまちづくり事業を展開。また、SUPとサウナと焚き火を趣味とし、えたじまSUP主宰、ETAJIMA SEA SUPPORT副代表としても活躍中。身近にある海で子どもたちと遊び、マリナクティブティを楽しみながら、目の前の海で大量に発生する海洋ゴミを身近な問題に感じ、ビーチのごみ拾いなどの江田島の海づくりを自分たちのできることからコツコツと取り組んでいる。

**3rd**  
**03/26** (土) SAT  
**10:00~11:40**  
 地域独自の資源をフル活用してビジネス化している実践者。



**新里 カオリ** (にいさと かおり)  
 株式会社立花テキスタイル研究所 代表取締役

埼玉県出身 武蔵野美術大学大学院テキスタイル専攻修了  
 教育関係の仕事などを経て2009年、尾道に移住。株式会社立花テキスタイル研究所を創設、主宰。尾道市の向島で80年以上織られ続けている帆布を、地域の農家や家具屋、鉄鋼所などから出る廃材で染めた環境配慮型の製品を製作、販売。地元農家さんに綿と藍の栽培を委託するなど、地域で生まれたものを原料にする取り組みをしながら、糸紡ぎ、染め、織りの指導などを全国で行う。RCCラジオ「新里カオリのうららかなたね」のパーソナリティとしても活躍中。  
<https://tachtex.com>

